



きたかしわ幼稚園哲学

「子ども主体の保育」

子ども主体を意識し、「子ども達が自らやりたい。こうしたい」を基に、「気付き、話す・聞く、考える、相談する、遊ぶ」の活動を大事にします。

—好きな遊びと生活習慣指導も含めた課題のある活動のバランスのとれた保育を目指します。—

行事などの活動は、出来栄も大事ですが、園児の成長や子供たちの作り上げていく活動経過や成長を重視します。

夏の暑さがうそのように、秋も一段と深まり、日だまりが恋しい季節になりました。園庭の落ち葉を拾ったり、秋の花で色水を作ったり、自然とのふれあいを楽しんでいる子どもたち。もう手の届く所まで冬は来ているようですが、もう少し秋を楽しみたいところです。

運動会を終えて、そこで培った色々な力が遊びの中にも表れてきました。一人ひとりの更なる成長を目指して、日々子どもたちと触れ合っていきたいと思えます。今月もよろしくお願い致します。

発表会について

今年度の発表会は、原則クラスごとの参観となります。人数制限は、行いません。また、ほかのクラスの発表を参観したい方は、ホール後ろに参観場所を用意いたします。

こどもたちは、考え、みんなと相談、準備、活動、本番、振り返りの一連の活動を通して成長していきます。本番の出来栄だけでなく、ご家庭でお子さんの話を聞きながら、園とともに成長を育んでいけたらと願っています。ご理解ご協力よろしくお願い致します。



<12月の主な行事予定>

- 5日(火) 発表会① (たんぽぽ・ぱんだ・にじ)
- 6日(水) 発表会② (こすもす・きりん・そら)
- 7日(木) 発表会③ (ひまわり・うさぎ・ほし)
- 8日(金) 誕生会
- 13日(水) クリスマス会
- 15日(金) 餅つき
- 18日(月) 19日(火) 午前保育
- 20日(水) 終業式



		11月
水	1	願書受付 (在園児休園)
木	2	
金	3	文化の日
土	4	
日	5	
月	6	
火	7	体育参観(年中・少)
水	8	保育料引き落とし
木	9	体育参観(年長)
金	10	
土	11	
日	12	
月	13	
火	14	音楽コンサート(年長)
水	15	誕生会 七五三
木	16	
金	17	
土	18	
日	19	
月	20	
火	21	
水	22	
木	23	勤労感謝の日
金	24	
土	25	
日	26	
月	27	
火	28	発表会予行①
水	29	発表会予行②
木	30	発表会予行③



おねがい

- ・譲り受けた制服、体操服など名前の書き直しはお済みですか？自分の名前が記入されていないことで子どもたちが混乱している姿がみられます。必ずクラス名も記入してください。
- ・水筒の蓋のパッキン等はカビが生えやすい場所です。お子様の水筒をご家庭で点検して下さい。
- ・登降園の際、駐車場から門までは、必ずお子さまと手をつないで下さるようお願いいたします。また、幼稚園駐車場やランチルーム駐車場では遊ばせないようお願いいたします。
(幼稚園近隣の私有地駐車場でも危険だということで保護者の方やご近所から苦情も頂いています。)
- ・体操服については、まだ日中の気温が高い日があります。ひきつづき、半袖・長袖両方を持たせてください。

***職場が変わった、仕事を始めたなど、緊急連絡先が変わった場合は、担任までお伝えください。**

【体操の村山先生より】・・・11月は跳び箱を行います。

《年少》鉄棒を行いました。前回り下りや足抜き回りに挑戦しました。少し怖がる子もいましたが、お友達と声を掛け合いながら頑張りました。

《年中》前回り下りや足抜き回り、しりぬき回りを行いました。逆上がりにもチャレンジ、どうしたらできるか考えました。

《年長》組み立て体操を行いました。お友だちと協力して難しい技にもチャレンジしました。



つめを切るう。つめの中をきれいにしよう



爪を切って清潔に...

ここ最近、爪が伸びているお子様が目立ちます。

爪が伸びていると、爪と指の間にはばい菌が繁殖しやすくなります。また、乳幼児のやわらかい肌を傷つける危険性もありますので、爪は、こまめに切るようにしましょう。ただし、深爪には要注意！切りすぎて肌を傷つけ、化膿してしまうこともあります。

今月の予定

11月

月	火	水	木	金
		1	2	3
6	7	8	9	10
13	14	15	16	17
20	21	22	23	24
27	28	29	30	

七五三とは？

数え年と満年齢、どちらでもOK。七五三のお祝いをするのは、一般的に11月15日とされていますが、必ずこの日にお祝いや参拝をしなければいけないわけではありません。昔は下図

儀式名	祝い年	内容
髪置き (かみおき)	数え年3歳 (満年齢2歳の年)	江戸時代には3歳まで髪を剃る習慣があり、髪を伸ばし始める儀式。
袴着 (はかまぎ)	数え年5歳 (満年齢4歳の年)	男の子が袴を着用し始めるための儀式。
帯解き (おびとき)	数え年7歳 (満年齢6歳の年)	女の子が大人と同じ幅の広い帯を結び始めるための儀式。

でしたが、現代では子どもの成長を祝う行事となり、女の子は3歳と7歳、男の子は3歳と5歳に、七五三のお祝いをするようになりました。



預かり保育

『あいんこ教室』からのお知らせ



月極めのお友達が増えました。大きい子も小さい子も少しずつお互いをわかり合い、時々けんかもしつつ、仲良く過ごしています。外あそびも十分取り入れ、午後の時間を楽しく、そしてちょっぴりゆっくり過ごせるよう配慮していきたいと思ひます。